

C型肝炎撲滅が見えてきた日本！ 世界肝炎デー 7月28日

肝臓川柳

撲滅へ 目標達成 せなあかんで～

(せなあかんで～…あかんで～…かんで～…かんえんで～…肝炎デー)

WHOは2016年に、4つの数値目標（診断90%、治療率80%、新規感染発生率90%減、死亡率65%減）達成による肝炎撲滅を2030年までに行うと世界中に宣言しました

日本は、世界に名だたる国を挙げた肝炎対策とDAA治療の普及により、2030年までのC型肝炎撲滅宣言達成が可能と予想されています

B型肝炎は、日本独自の1986年から開始した母子感染防止策、2016年から開始したHBVユニバーサルワクチン、核酸アナログ製剤治療の普及により、死亡率65%減は困難予想も撲滅宣言達成に向かっていきます

しかし、真の撲滅には、まだまだすべての肝炎患者の受験・受診・受療を進めなければなりません

今年も7月28日の世界肝炎デーをきっかけにさらに肝炎撲滅に向けて邁進しましょう



これだけ覚えておいて損はない！ 今回のポイント

WHOが宣言した肝炎撲滅の目標ですが、日本は国を挙げた肝炎対策等により目標達成が可能と予想もされています。

しかし真の撲滅のためには、まだまだすべての肝炎患者の受験・受診・受療を勧めなければなりません

(文：肝疾患センター長 野ツ俣 和夫)